

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	407	2年	前期	臨床検査学科	必修	病理学 Pathology	30	1
担当教員								
則松 良明								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	○ ⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
病理検査の意義と流れを学修した上で、各臓器や領域における疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的変化について、診断のために有用な各種染色、免疫組織・細胞化学的検索を通じて、把握、理解するだけでなく、疾病の機能的変化も推察できるようになる。さらに近年、分子標的薬剤の感受性検査や重症度(grade)分類への鑑別補助診断に応用されている染色体や遺伝子を対象とした病理分子生物学的解析についても理解できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	①病理検査・細胞診検査・迅速検査・病理遺伝子解析の意義と流れが説明できる。							
	②循環器系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	③呼吸器系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	④消化器系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	⑤内分泌系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	⑥泌尿・男性生殖系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	⑦女性生殖系疾患の発生原因や疾病の機能的変化(細胞・組織学的変化)が説明できる。							
	⑨細胞診検査において、各種材料別検査法(採取、標本作製法)、細胞所見の取り方、各領域での良性と悪性細胞の鑑別方法が説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	病理検査の意義と検査法：病理検査・細胞診検査・迅速検査・病理遺伝子解析の意義と流れについて講義する。							
2回	循環器系の病理：心筋梗塞、心内膜炎、心筋症、動脈硬化、大動脈解離、嚢胞性中膜壊死、脳梗塞、クモ膜下出血などについて、発生原因や機能的変化(細胞・組織学的変化)を講義する。							
3回	呼吸器系の病理：感染症、気管支肺炎、慢性間質性肺炎、肺線維症、肺気腫、無気肺、肺の腫瘍、胸膜中皮腫などについて、発生原因や機能的変化(細胞・組織学的変化)を講義する。							

備考	授業前に配布している資料ファイル(E-study)を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。					